

デイスターM300A 取扱説明書



この度は、マルマス一回搗精米機”デイスターM300A”をお買い上げ
頂き厚くお礼を申し上げます。
ご使用前には取扱説明書を熟読され、末長くご愛用下さい。
尚、不明瞭な点がありましたら販売店もしくは当社にお問合せ下さい。



警告

- ◎この取扱説明書を熟読され十分に理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行って下さい。
- ◎この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管して下さい。

目 次

1.重要なお知らせ	1
1-1 警告用語の種類と意味	2
1-2 本機の使用にあたっての諸注意	3
1-3 警告表示ラベルと注意表示ラベルの内容と貼付位置	5
2.製品の概要	6
2-1 本機の構成名称	6
2-2 仕様	6
2-3 本機の設置について	7
3.作業の注意	8
3-1 作業の注意	8
4.精米の仕方	9
4-1 精米の仕方	9
5.掃除の仕方	#
5-1 掃除の仕方	#
5-2 万石セット、金網関係の掃除と分解の方法	#
6.電気回路関係	#
6-1 電気回路関係	#
7.不調な時の原因と対策	#
7-1 不調な時の原因と対策一覧	#

1.重要なお知らせ



- ◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従って下さい。
- ◎この取扱説明書に従わなかったため、あるいは誤用や無断改造がなされたために怪我を負ったり、損害が発生したとしても、当社及び販売会社は一切その責任を負いません。

- 1)近年農業機械には新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。
この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。
そのためこの取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。
従って機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載及び機械本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
- 2)この取扱説明書について質問やより詳しい情報が必要な場合は、当社又は購入店にお問合せ下さい。
- 3)この取扱説明書において、万一ページの乱丁や落丁などがあつた場合は、お取り替えいたしますのでお手数ですが当社又は購入店までご連絡下さい。



- ◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書の指示・警告に従って下さい。
もし疑問点又は不明な点がございましたら、当社又は購入店にお問合せして回答を得るまで作業を進めないで下さい。




1. 重要なお知らせ

危険防止のために

1-1 警告用語の種類と意味

◎危険防止のために、本機の危険な箇所には警告ラベルを貼付してあります。
この警告ラベルでは危険度の高さ(又は事故の大きさ)に従って、次の3段階に分類しています。

以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容(指示)に従って下さい。








 危険	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 警告	存在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 注意	存在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合又は原料や製品に不具合が生じる場合に使用されます。

警告








危険防止のために危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。
このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。
また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けて下さい。
新しいラベルは当社にて準備しております。(ラベルは有償となっております)

1. 重要なお知らせ

1-2 本機の使用にあたっての諸注意

 注 意	作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
 警 告	本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し、本機の周りには決して過熱性の物・電氣的な高容量物コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険な物は置かないようにして下さい。 本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあります。
 警 告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。 守らずに作業をしますとケガをする場合があります。 また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けて下さい。 新しいラベルは当社にて準備しております。(ラベルは有償となっております)
 警 告	当社に無断で本機を改造したり、取り付けられているものを外したり加工をほどこし、本機と関係のない物を取り付けたりは、絶対にしないで下さい。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
 警 告	使用頻度に合わせて本機の点検・清掃は必ず実施して下さい。 本機の性能を充分発揮出来ず、安全上支障をきたすことがあります。 また、点検・清掃を行う場合は必ず元電源を切ってから作業して下さい。 守らずに作業しますとケガをする場合があります。
 警 告	本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事有資格者又は電気工事資格店にて本機の取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。 自分で勝手に工事はなさないで下さい。 本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。 又、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適合していることを確認後、本機を使用して下さい。
 注 意	本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 感電・漏電・火災の原因となります。

1.重要なお知らせ

 注意	<p>本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 感電・漏電・火災の原因となります。</p>
 注意	<p>水のかかる場所や火気の近くでは使用しないで下さい。 感電・漏電・火災の原因となります。</p>
 注意	<p>電源プラグを抜く場合は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いて下さい。 感電や発火する場合があります。</p>
 警告	<p>改造はしないで下さい。また、修理技術者以外の方は分解や修理をしないで下さい。 火災・感電・ケガの原因となります。</p>
 警告	<p>本機を水につけたり、本機に水をかけたりしないで下さい。 ショート・感電の恐れがあります。</p>
 警告	<p>電源プラグの刃(プラグ先端)及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よく拭き、ほこりを取り除いて下さい。 火災の原因となります。</p>
 警告	<p>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は本機を使用しないで下さい。 感電・ショート・発火の原因となります。</p>
 警告	<p>指定の電源以外では使用しないで下さい。 火災・感電の原因となります。</p>
 警告	<p>電源コードを傷つけないで下さい。 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重たいものを載せたり、挟みこんだり、加工した場合は、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。</p>
 警告	<p>電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んで下さい。 感電・ショート・発煙・発火の原因となります。</p>

※上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。よく熟読され、必ず守って下さい。

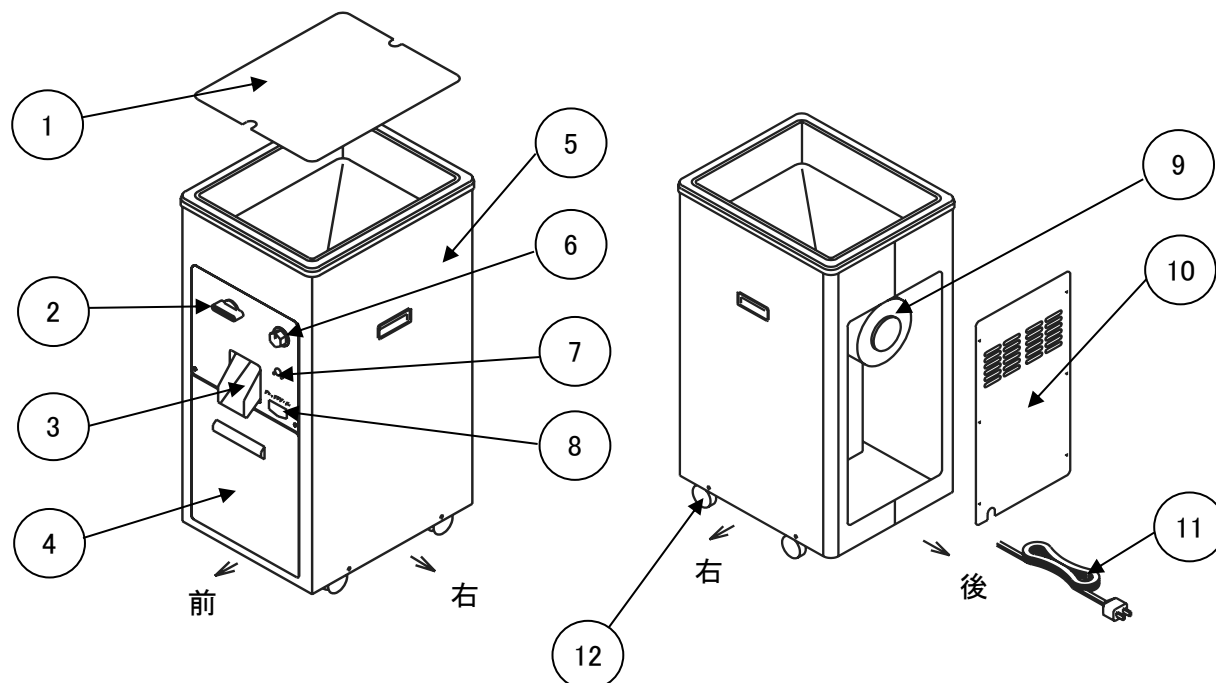
1. 重要なお知らせ

1-3 警告表示ラベルと注意表示ラベルの内容と貼付位置



2.ご使用になるまえに

2-1 本機の構成名称



番号	名 称	番号	名 称
1	タンクフタ	7	サーマルプロテクター
2	ハンドル	8	前カバー
3	万石(米排出口)	9	モーター
4	糠箱	10	後カバー
5	側板	11	電源コード
6	タイマー	12	キャスター

2-2 仕様

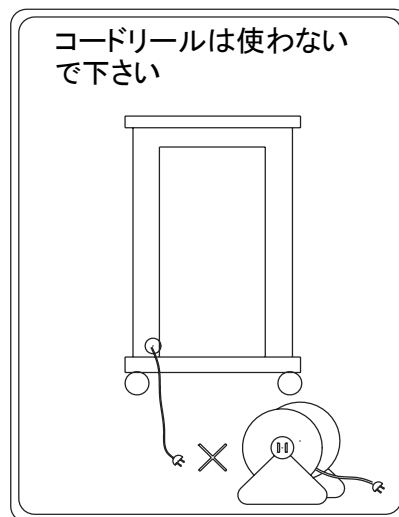
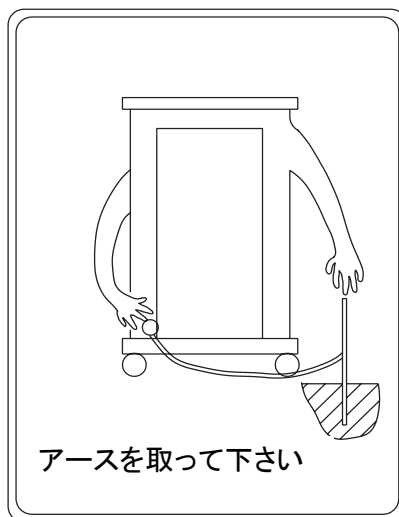
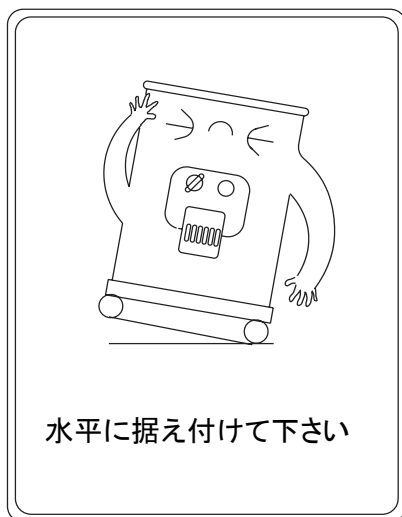
項 目	仕 様
型 式	デイスターM300A
タンク容量	15kg(1斗)
所要馬力	100V 300W モーター内蔵
毎時能力	20~25kg
重量	27kg
大きさ(cm)	(巾×長さ×高さ) 36×49×79

2.ご使用になるまえに

2-3 本機の設置について

精米機の据え付けについて

- 1) 設置場所は、湿気の無いところで、水、油等のかからない場所を選んで下さい。
- 2) 機体が水平になるように設置して下さい。
- 3) 外部から振動の伝わらないところで、点検の容易な場所を選んで下さい。
- 4) コードリールは使わないで下さい。ブレーカーが作動することがあります。



3.作業の注意

3-1 作業の注意



注意

運転中に停電になったとき

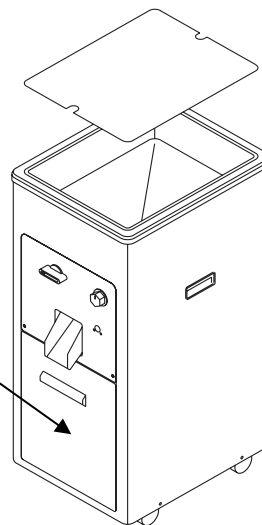
- 1) 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 2) タイマーを0に戻し、精白度調節ハンドルを左に回して下さい。(抵抗最弱位置)
- 3) 停電が回復しましたら再始動(運転再開)して下さい。



注意

ヌカ満了の注意

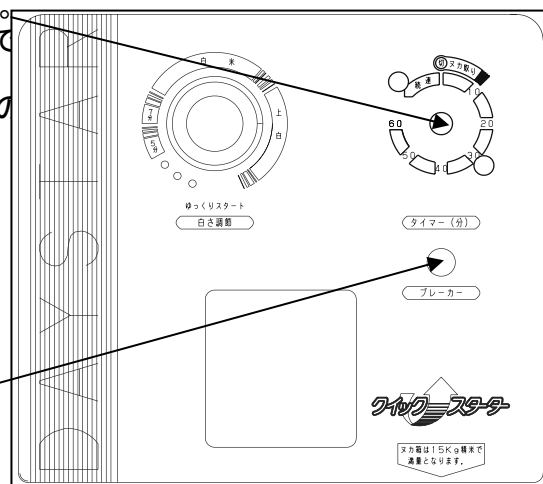
ヌカ箱は1斗(15kg)精米で満了になりますので掃除をして下さい。
長時間放置しますと米虫が発生します。
また、満了の状態ですとブレーカーが作動する事や、白米にヌカが混じることや、むら搗の原因になります。



注意

タイマースイッチの注意

タイマーは連続運転と時間設定ができます。
ダイヤルを回しますと運転が始まりますので十分注意して操作して下さい。
品種や白度の設定で精米時間が違いますので目安として御使い下さい。
計量器としての使用はできません。



注意

ブレーカーの注意

ブレーカーが作動した場合は原因を取り除いた後ボタンを押して解除して下さい。
押しボタンは3秒以上押さないで下さい。
電気系統がこわれます。

4.精米の仕方

4-1 精米の仕方

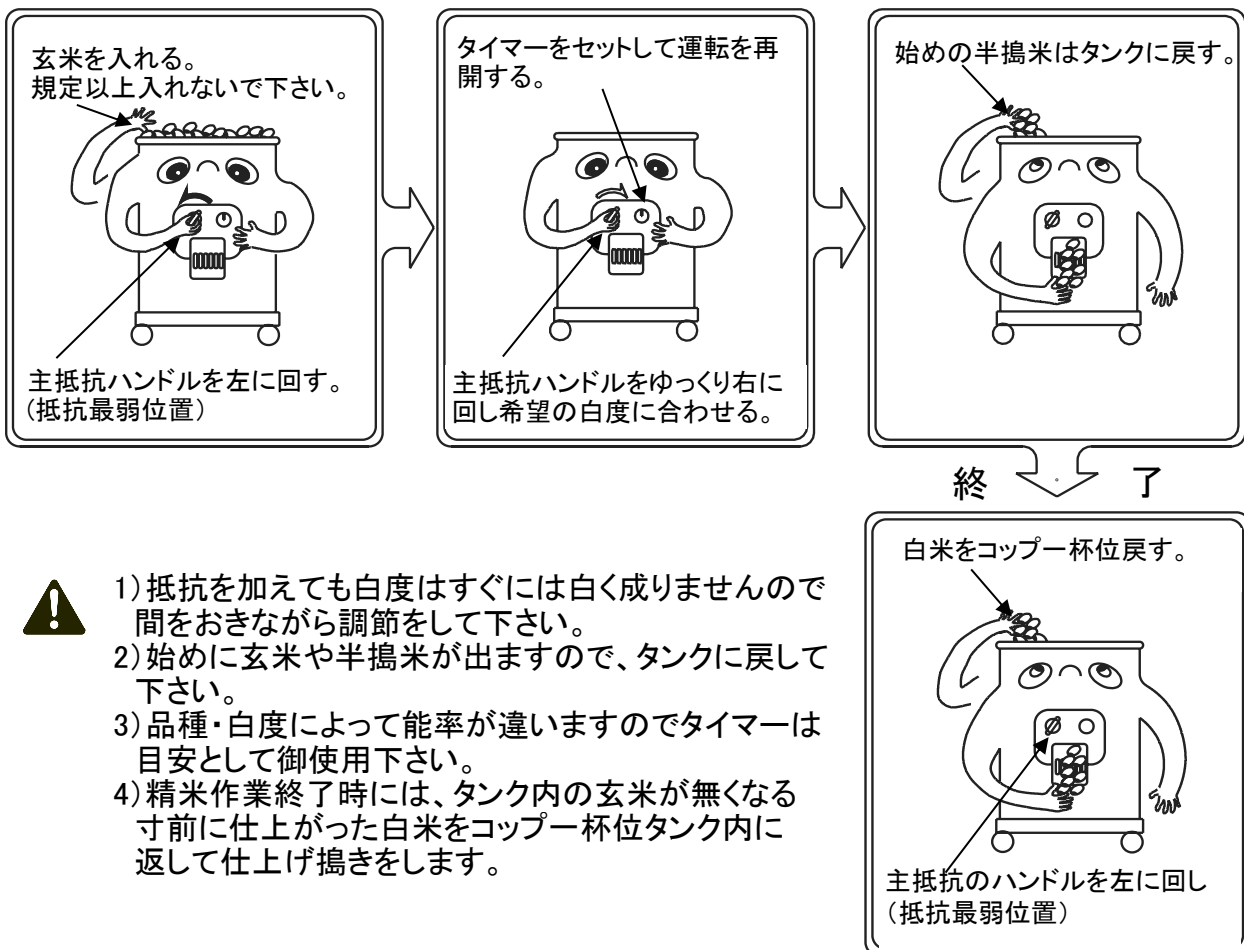


- 1) 精米機で搗精するお米は玄米の性状・品種・乾燥度・新米古米の別・モチ米・くず米等それぞれ搗き方が異なります。
- 2) 普通標準米水分15%前後です。16%以上17%は高水分米です。又水分13%以下は過乾燥米(硬質米)になります。
- 3) 玄米の乾燥度合いに応じて抵抗のかけ方を加減して下さい。
- 4) モチ米は糠層が厚く搗きにくいので、2度搗きして下さい。一回め8~9歩搗きとし、二回めで仕上げして下さい。きれいに又歩留り良く仕上がります。
- 5) くず米は碎米になりやすいので、抵抗も弱くし必ず二度搗とします。

重要！

- 6) 新米が収穫されて一ヶ月程の間は特に搗きやすいので、抵抗は1~2目盛り程弱くして下さい。
- ◎抵抗が強すぎると、精米機内特に精白部の円筒や除糠金網部等に膠着することがあります。

精米運転は下図の要領で行なって下さい

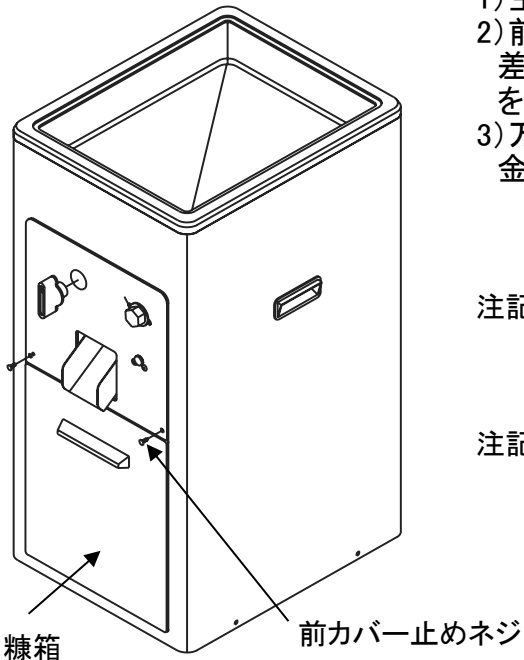


- 1) 抵抗を加えても白度はすぐには白く成りませんので間をおきながら調節して下さい。
- 2) 始めに玄米や半搗米が出ますので、タンクに戻して下さい。
- 3) 品種・白度によって能率が違いますのでタイマーは目安として御使用下さい。
- 4) 精米作業終了時には、タンク内の玄米が無くなる寸前に仕上がった白米をコップ一杯位タンク内に返して仕上げ搗きをします。

5.掃除の仕方

5-1 掃除の仕方

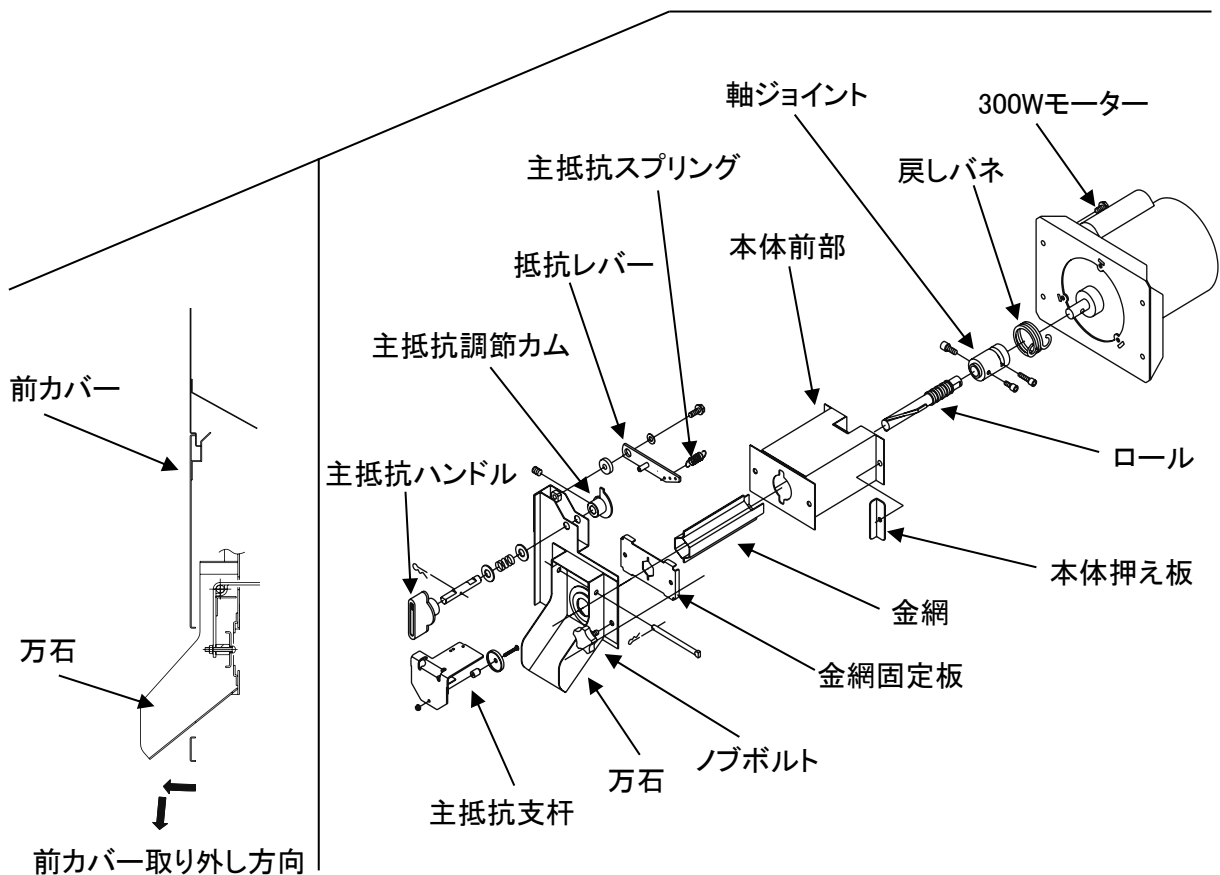
◎下記に示す手順で掃除分解を行なって下さい。



- 1) 主抵抗ハンドルを抜きます。
- 2) 前カバー止めネジをはずします。前カバーの上側は差込みになっていますので、下方に下げて前カバーを取り外してください。
- 3) 万石左右のノブボルト2本を外し、万石セット・金網・金網固定板を抜きます。

注記 ロールに糠付着のあるときは、精米の時に玄米30kgに米糠約300g(5合程度)混ぜて精米するとロールの糠付着を防止します。

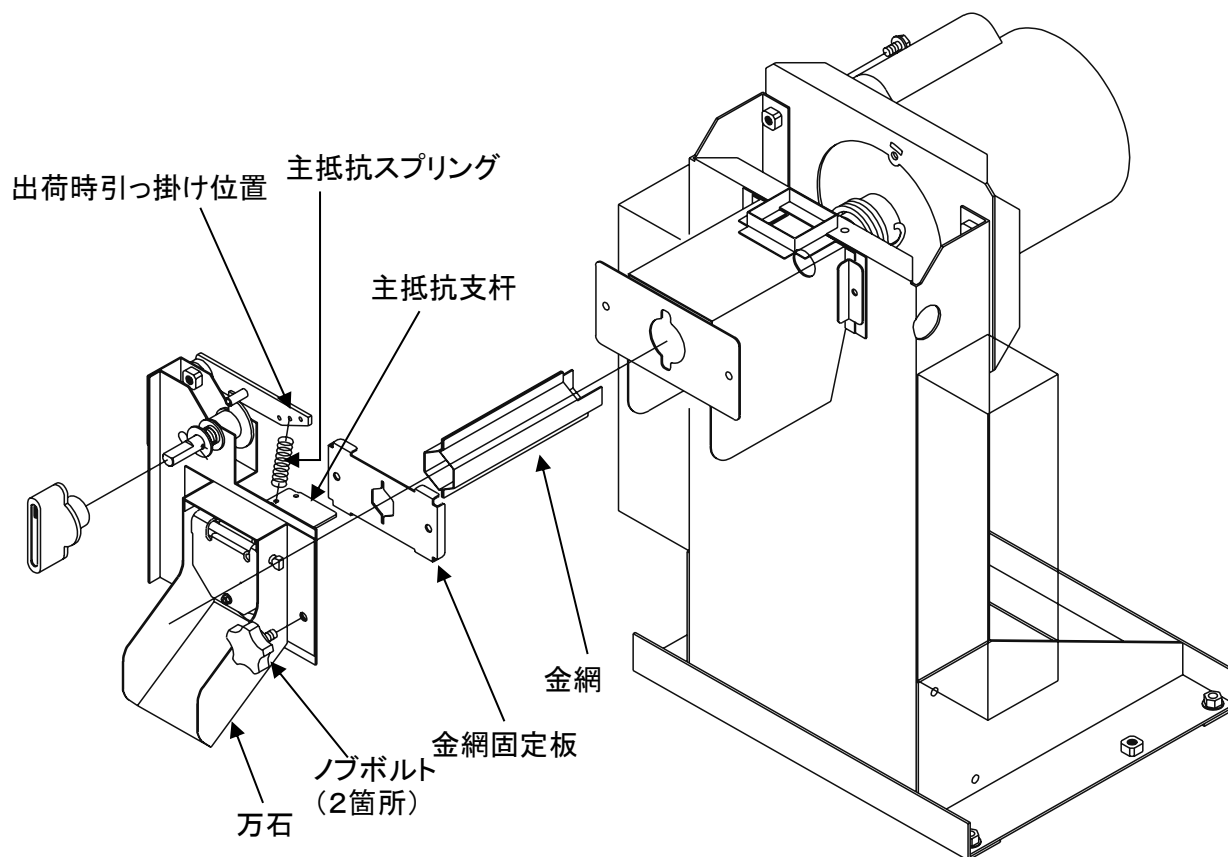
注記 長期間使用しないで放置しますと、糠箱の米糠から米虫が発生します。米糠は、精米が終了する度に掃除して下さい。



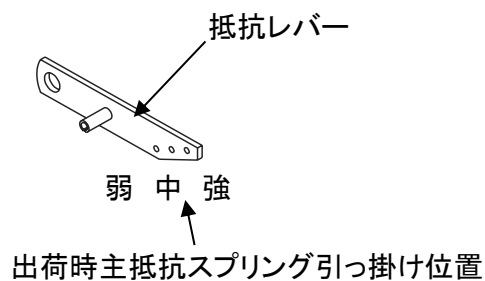
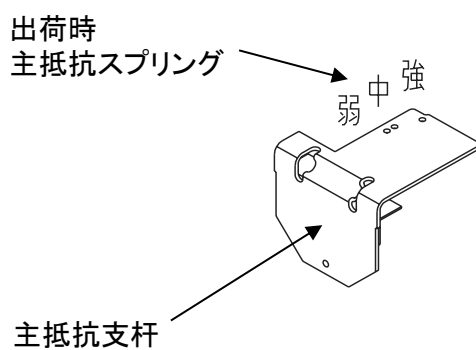
5.掃除の仕方

5-2 万石セット金網関係の掃除分解の方法

下記のように万石左右のノブボルト2本をはずしますと、万石・金網は分解できます。
ワイヤーブラシで金網・万石の米出口のヌカの付着を掃除して下さい。

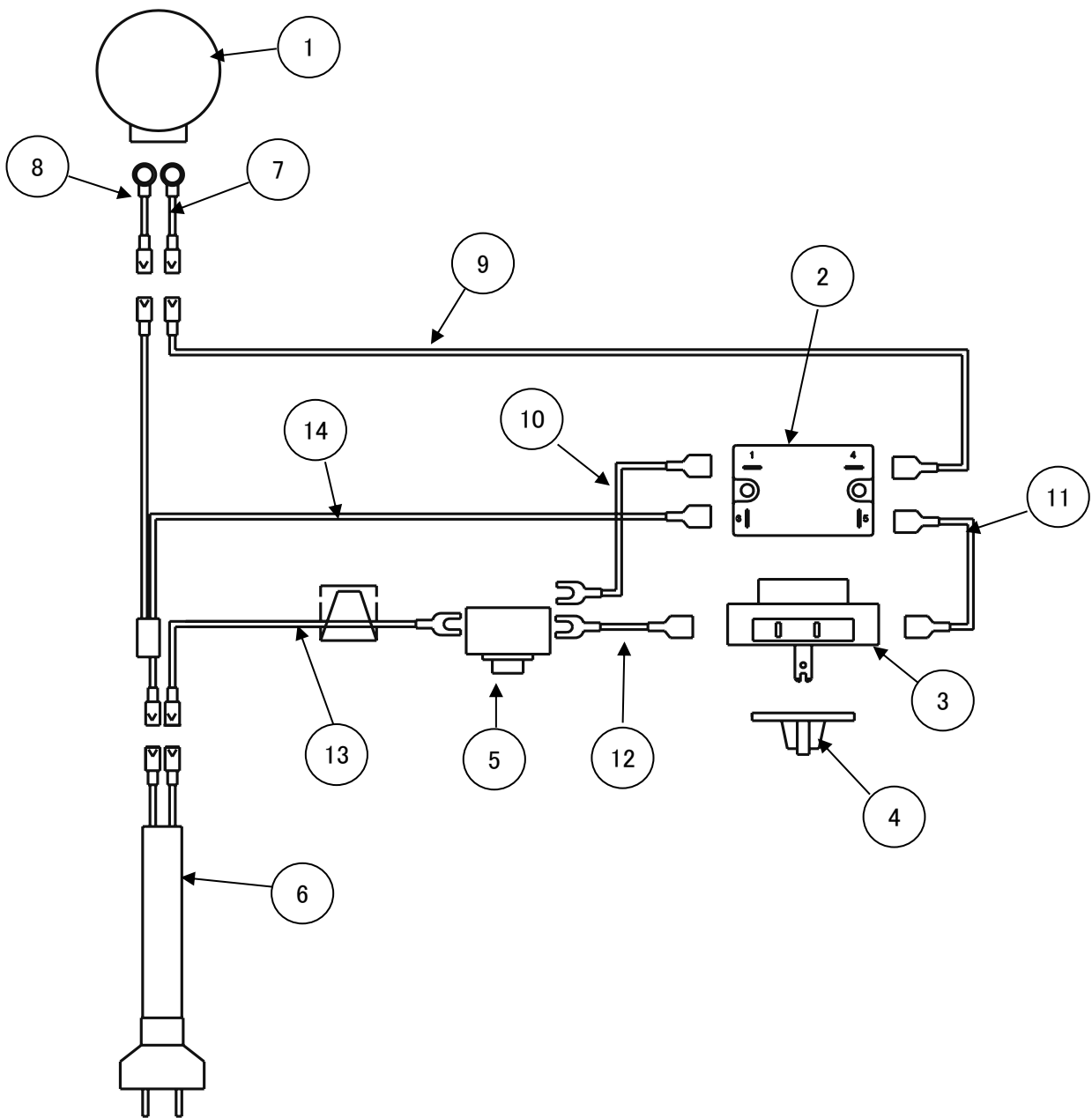


注意：白度が上がらなくなった場合は、主抵抗スプリングを主抵抗支杆の奥側の穴に引っ掛けて下さい。
それでも、満足いただけない場合は、抵抗レバーの上方の穴に引っ掛けて下さい。



6-1 電気回路関係

6-1 電気回路関係



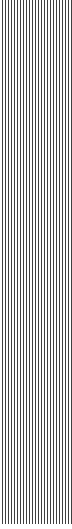
品番	品名	個数	品番	品名	個数	品番	品名	個数
1	モータ 単相300W	1	6	プラグ付コード	1	11	配線コードH(白)	1
2	パワーリレー	1	7	モータコードA(白)	1	12	配線コードB(白)	1
3	ゼンマイタイマー	1	8	モータコードB(黒)	1	13	配線コードA(白)	1
4	タイマーつまみ	1	9	配線コードG(白)	1	14	配線コードC(黒)	1
5	サーマルプロテクタ	1	10	配線コードJ(白)	1	15		

7.不調なときの原因と対策

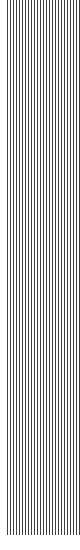
7-1 不調なときの原因と対策一覧

次のようなトラブルが発生したら対策に従って調整及び修理を行って下さい。

状態	原因	対策
精米機が作動しない	・電源が入っていない	→ 電源及び配線を確認して下さい
	・電源のサーマルが作動している	→ 原因を取り除きサーマルをリセットして下さい
ブレーカーが作動する	・必要以上に白度を上げ過ぎる	→ 抵抗を弱めにして下さい
	・精米機内に異物が混入している	→ 異物を取り除いて下さい
	・電源又は配線で異常がある	→ 電源及び配線を確認して下さい
白度が上がらない 糠ハケが悪い	・精米機内に糠がつまっている	→ 取扱説明書に従って掃除して下さい
	・金網、ロールに糠が付着している	→ 各部を分解し掃除してください
	・金網、ロールが磨耗している	→ 金網、ロール等を交換して下さい
カタカタと音がする	・各部のセットボルトの緩み	→ 各部のセットボルトを締める
砕米が発生する	・米の品種及び状態による場合	→ 抵抗を”0”に戻し、もう一度調整
	・必要以上に白度を上げ過ぎる	→ 抵抗を”0”に戻し、もう一度調整
	・玄米に胴割れが多い	→ 抵抗を弱くして二回搗する
	・精米機内に異物が混入している	→ 精米機本体を分解し異物を取り除いて下さい
精米に時間がかかる	・石抜金網に糠が付着している	→ 金網、ロール等を交換して下さい
	・ロールに糠が付着している	→ 精米機本体を分解し、ロールを掃除して下さい 玄米30kgに対して、糠約300g(5合)程混合して精米して下さい
むら搗になる	・主抵抗支杆、主抵抗板、万石の米排出口などに糠が付着している	→ 各部を掃除して付着した糠を取り除いて下さい



保証規定



1.保証期間

納入日より起算して満1ヶ年といたします。
但し業務用は3ヶ月といたします。
(保証期間が過ぎると総て有償となります。)

2.保証内容

保証期間に於いて、本機を構成する部品、材料等に、設計製作上の欠陥があらわれ、弊社がこの欠陥を認められた場合に限り、弊社特約販売店または指定サ-ビス工場で当該部品の取り替え、または修理を無料で行います。

3.適用除外

保証期間内でも、次の場合には保証いたしません。
(1)使用上、並びに取扱上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合。

- (2)弊社が規定する仕様の限度を超えて使用し故障した場合。
- (3)弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
- (4)弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。
- (5)弊社特約販売店、または弊社指定サ-ビス工場以外で修理され、故障した場合。
- (6)故障判定資料の不十分なものおよび損傷部品を紛失された場合。(故障交換部品はクレーン判定完了まで保管して下さい。)
- (7)本書のご提示がない場合。
- (8)本書に、購入日(年月日)・購入先(販売店名及び農協名)の記入がない場合、あるいは文字を書き換えられた場合。

購入年月日	平成	年	月	日
購入先 (販売店及び農協)				



◎この取扱説明書を熟読され充分理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行って下さい。

◎この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管して下さい。

●お問合せは、ご購入先あるいは弊社の出張所、又は本社へ

マルマス機械株式会社

本社・工場	富山県中新川郡上市町若杉2	TEL 076-472-2233(代)
新潟工場	新潟県燕市小池5212-3	TEL 0256-66-2411~2
札幌出張所	札幌市北区篠路2条5-16-17	TEL 011-771-5357
関東出張所	埼玉県羽生市上新郷6137-21	TEL・FAX 0485-61-1566
広島出張所	広島市安佐南区西原2丁目24-26	TEL・FAX 082-573-7857
熊本出張所	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-1	TEL・FAX 096-320-4973
福岡出張所	福岡市東区和白丘1丁目7番3号	TEL・FAX 092-606-3293
<ホームページ>	http://www.marumasu.co.jp	<e-mail> mill_star@marumasu.co.jp